

少連協ニュース

○発行／足立区少年団体連合協議会 〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1 足立区役所青少年課 青少年育成係 TEL 03-3880-5275
○発行人／四宮淳司 ○編集／調査広報部 大関 川田 鈴木(春) 辻村 岩井 熊澤 仁科 常田 梅津



▲ジュニアリーダー集合！（JL人文字）～鋸南キャンプにて～

目次

- 会長挨拶……………1
- あだち区民まつり……………2
- 江東5区
ジュニアリーダー交流会…2
- 鋸南ジュニアリーダー宿泊研修…3
- 第57回全国子ども育成
中央会議・研究大会…4
- 全国子ども連合会
表彰を受けて……………4
- 第53回東京都子ども会
育成研究協議会…5
- 日帰り研修会……………5
- ドッチビー大会……………6
- ドッチビー大会アンケート……………7
- 足立区少年団体連合協議会
新年会を開催…7
- 地少協の活動……………8
- 編集後記……………8



おかげさまで、子どもたちのキャンプ参加者が増えたことにより、足立ジュニアリーダークラブも90名御礼申し上げます。



令和6年度年度末を迎え、子ども会、地区少年団体協議会の皆様には厳しい状況の中、様々な活動を実施していただき心より感謝を申し上げます。

また、ジュニアリーダー研修会、御殿場キャンプ、鋸南キャンプ、都子連育成研、バス研修会、新年会、ドッチビー大会と少連協主要事業にご尽力いただきました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

を越える会員になりました。6年生のスーパー研修会も約60名で活動しております。そうした中、育成という課題も見えてきました。3月末には、高尾の森わくわくビレッジ（鋸南に代わる施設）において、ジュニアリーダースキルアップ研修会を行いました。また、来年度には、大学生以上のユースリーダークラブの創設も予定しております。

年度末を迎えて

足立区少年団体連合協議会 会長

四宮 淳司





▲今年も盛況のふわふわトランポリン
(JLが案内プラカードを持ち誘導)

少連協が出店する「わんぱくブース」は青少年委員会、女性団体連合会とともに子ども達も安全安心安価で楽しめるエリアです。

今回、少連協ブースは、ジュニアリーダーも含め両日合わせ150人超の方々にお手伝いに携わっていただきました。ストラックアウト(景品)、飲料販売は初日昼過ぎには用意していた2日分を完売してしまいました。初日終了後再度、同じくらい仕入れを行いました。子どもたちに大人気の「ふわふわトラン

37万人の笑顔

副会長 田中 加代



▲スタッフの朝礼

ポリン」は、例年と同じく長蛇の列となり大盛況でした。

暑い中お手伝い頂いた皆様ありがとうございます。

また、第四・第七・第十一・中川・栗島地少協の方々にも食品コーナーを出店して頂き、エリア内は大いに賑わいを見せていました。

両日晴天のもと37万人(観光交流協会集計)がAフェスタに会場し秋の休日を満喫していました。

今年度は新たな試みで、ジュニアリーダーを区民の皆さんにより周知していただくため、「ジュニアリーダーと遊ぼう」コーナーの設置もしました。クラフト作成とヨーヨー販売、ゲームなどです。企画通りにはならないこともありましたが、参加した子どもたちは、一生懸命に取り組んでくれました。

今秋、中学生のジュニアリーダースーパード研修会を終了した31名のうち17名のルークキーたちも初めてのクラブ活動デビューの場として頑張ってくれました。初日は緊張も見られましたが徐々に笑顔も増え楽しんで接客していました。

地域(地少協)とジュニアリーダーが一体となった2日間でした。

江東5区

ジュニアリーダー交流会

葛飾、江戸川、江東、墨田、足立の
ジュニアリーダー大集合

11月9日、江東区東陽区民会館にて、ジュニアリーダー交流会が開催され、足立区からは足立ジュニアリーダークラブ4名、新田ジュニアリーダークラブ2名が参加しました。交流会では、各区ごとにレクを披露しました。他区のレクを持ち帰り、今後の参考にしていきます。



▲参加者全員集合!!

ジュニアリーダーと遊ぼう

ジュニアリーダー(高校生) 斉藤 有貴

ジュニアリーダーとして、ポップコーン・ヨーヨーの販売、ジュニアリーダーと遊ぼうの3つのブースを出店しました。新しくクラブに入会した17名を加え2日間で計40名のリーダーが参加しました。

ジュニアリーダーと遊ぼうでは、宿泊キャンプで行ったフォトフレーム作りをしました。フレームに自分が使いたいシーグラスやどんぐりを付けて自分だけのフォトフレームを作ってもらいました。ボンダが乾くまで、預からせていただいたとき、机に並んでいるフォトフレームの数の多さに感動しました。また、ヨーヨーとポップコーンはおかげさまで完売することが出来ました。

これは一人ひとりがリーダーの話をよく聞いて、どうすればみんなに楽しんでもらえるか考え、一生懸命声掛けをして頑張った結果だと思っています。今後もリーダーとして後輩ジュニアが、たくさん活躍できるようサポートしていききたいです。

鋸南ジュニアリーダー宿泊研修

鋸南キャンプ長 熊谷 厚

小学校5年生を対象に11月2日～4日の日程で、鋸南自然の家へ宿泊研修に行きました。今年度、夏の御殿場キャンプより、中学生から社会人リーダーが、それぞれの役割を決めて宿泊研修の活動をしています。

1日目は雨でしたが、リーダー達は、屋内でも楽しめるプログラムを考えてくれました。2日目は朝から晴天に恵まれて、屋外で思いっきり楽しみました。昼食は自分たちで具材を包み、牛乳パックに詰めて焼くカートンドッグを食べました。子ども達にも大好評でした。夜はキャンプファイヤー



▲海岸で参加者全員集合



▲恒例のキャンプファイヤー

で盛り上がりました。3日目は海岸を散策して記念写真を撮影した後、帰京しました。ジュニアリーダー宿泊研修は普段の学校生活とは異なり、初めて会う人同士で協力して、いろいろな経験をする中で、成長の一助になればと思います。夏の御殿場キャンプで、成長したみんなに再会できる事を楽しみにしています。



▲テント講習会～上手にできたかな?～



初めてのプログラムディレクター

プログラムディレクター(社会人) 田口 藍

私たちは、今回2人でプログラムディレクターを務めました。プログラムディレクターとは、キャンプの進行を管理し、予定通り進める役割です。今回、初めてのプログラムディレクターで緊張しましたが、無事にキャンプが成功したと感じています。

今回一緒に参加してくれたリーダーのみんなが、協力的で言ったことを実行してくれたことが、成功できたひとつの要因だと考えています。他にも、分からないことは先輩に聞いてみたり、他のリーダーにアイデアを聞いてみたりすることで、解決策が見つかることが多かったことも、キャンプ成功の理由だと思っています。自分たちだけで解決しようとするだけでなく、他のリーダーと協力してキャンプを作っていくことが大切だと感じました。3日間、本当にありがとうございました。

調査広報部 岩井 晴美

5年生58名ジュニアリーダー31名(新リーダー21名)と青少年課・少連協のスタッフとともに鋸南自然の家に宿泊研修に参加してきました。

青年リーダーとその他のリーダー達が、それぞれ役割をはたしスムーズに進めていました。見ていてとても頼もしく思い、先輩リーダー達の行動をお手本に、リーダーを目指してもらえたらしいなと思いました。

第57回 全国子ども会育成 中央会議・研究大会

副会長 五十嵐 渉

令和 6 年 11 月 16 日、18 日の 3 日間、沖縄県那覇市にて、メインテーマは「子どもは宝 地域を繋ぐ子ども会のチカラ」で開催されました。足立区からは四宮会長をはじめ 4 名で参加しました。

全国各地の子ども会代表 600 人程が沖縄の迫力ある伝統舞踊に迎えられ、開会式の後「自分の可能性は無限大 夢へダッシュ 世界一までの軌跡」として譜久里武氏（マスタース陸上選手）の記念講演がありました。講師の体験や子どもたちへの取り組み方として、

【夢を叶える 7 つの法則】

- ① ふりむかず（過去）
- ② 悔やまず（過去）
- ③ 先を観る（未来） 夢を持つ
- ④ ときめく（今）
- ⑤ たのしむ（今）
- ⑥ 失敗を恐れない勇気を持つ（今）
- ⑦ 決断したことを持続する（今）

【5 つのルール】

- ① できなくても良いから一生懸命やる事
- ② 他の人（子ども）と比べない
- ③ ふざけない
- ④ コーチの話を一生懸命聞く事
- ⑤ 仲良くして良い雰囲気を作る事

などが紹介されました。これを参考に足立区でも、スローガンや伝える言葉を考えて、今後の活動に活かしていきます。

その後の意見交換会では、司会進行、運営を沖縄県のジュニアリーダーが和やかに活動しており、とても素晴らしいと思いました。

2 日目には、「都市部での子ども会会員増を目指して」や「ユース・リーダーに求めるもの」など 8 分科会が行われ、参加した「ジュニアリーダー指導と育成」では現状（全国的な課題となっているリーダーの減少問題）や課題の講義と「未来へつながるリーダーを育てるために」のグループ討議を通して育成活動に関して認識を深めることができました。

なお、この大会の中で区少連協副会長の大関英広氏が永年の子ども会育成活動を認められ、全国子ども会連合会美田耕一郎会長から表彰されました。



▲足立区からの参加者一同



▲譜久里武（ふくしぎと・たけし）講師

全国子ども会連合会 表彰を受けて

副会長 大関 英広

学校から帰ると近所の青少年部長さんの仕事場へ友達らとワケも無く集まり、おしゃべりをして過ごした。そんな私も我が子の成長とともに地域で子供会育成者に仲間入りしました。

町会青少年部長や青少年地区対役員などを務め、あつという間に 38 年間のことです。これまで青少年の健全育成活動に携わる皆さん方のご理解とご協力があり、この度、全国子ども会連合会美田耕一郎会長から永年の子ども会育成活動を認められ、表彰されました。

今後も引き続き微力ではありますが、子どもたちの話し相手をはじめとした子どもたちの育成活動に務めていく所存であります。



▲大関英広副会長



▲表彰の皆様（前列右 高野若竹子供会／後列右 足立区ジュニアリーダー／後列左より 平田藍里、川田和美）

調査広報部副部長 仁科 真由美
11月24日、国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて開催され、先に令和5年度の子ども会並びに子ども会活動にあたられた方々の功績を称え、「高野若竹子ども会」、「足立区ジュニアリーダークラブ」、「平田藍里指導者クラブ代表」、「川田和美調査広報部長」が表彰されました。

第53回

東京都子ども会

育成研修協議会

テーマは「子どもの体験活動による成長・子育て支援フォーラム@TOKYO」であり、NPO法人千葉自然学校南房総市大房岬自然の家 副所長花嶋桃子先生による基調講演「自然体験が子どもに与える影響・その重要性や効果について」が行われました。

海と山に恵まれた自然の家では、ライフラインが止まった設定の中、野外でタープを張って寝泊りするなどの非日常体験ができます。

子ども達は失敗や成功を経験し、それが原体験となり自尊心や外向性が高まっていくそうです。

私たち大人も指導者としての原体験がありませんか？と問われ、指導者としてどう考えるか、どんな指導者でありたいかということを考えさせられる講演でした。

午後の分科会では、「これからの子ども会体験活動で、指導者として育成者として重要なことは何か？」をテーマに、子ども会・町会活動に協力的ではない保護者や大人について、どう対応したのか、体験談を話しました。その中で、社会教育士という地域問題を支援する専門人材の必要性も知ることができました。

検索すれば答えがわかる現代において、子ども達が体験を通して自ら考え行動できるような機会を、継続していかねばならないと思います。



▲基調講演の様子

令和6年12月1日、少連協日帰り研修会を実施しました。区から天野係長にも参加いただき、総勢32名でバス1台、日光方面へ向かいました。

バスの中で、御殿場ジュニアリーダー宿泊キャンプのDVD鑑賞している間に足立区立日光林間学園へ到着、施設職員から説明を受け、足立区の小学6年生たちが宿泊する部屋や食堂、会議室、体育館まで、じっくりと見学できました。やはり、リアルに現場を見ると、そこでの子どもたちの活動を想像することができそうです。まさに百聞は一見に如かず。とても有意義なものとなりました。

また、昨年夏に上皇様が訪れた日光田母沢御用邸記念公園の視察も時間が足りなくなるほど熱心に建築を学び知ることができ、ぜひ足立の子どもたちも連れて

日帰り研修会



▲足立区立日光林間学園～食堂～

来たいなと思いました。その他、霧降の滝で紅葉観賞や、車中でのビンゴ大会など、参加者同士の親睦も深めることができ、この研修を通じて、これからの少連協活動が円滑に進む一助にもなったと思います。

来年は、今まで参加したことのない方々にも広げて実施できるよう企画して行きます。ご参加の皆様、どうもありがとうございました。



▲田母沢御用邸前にて参加者一同



▲開会式～全力で頑張ろう！～

事業研修部 多島 三好
 本大会は、17年前の平成20年に、梅島のエルソフィアで始まりました。最初は2面しか取れず、観客席も狭く、応援する保護者にクレームをいただくなど、選手の入替えも大変でしたが、今思えば懐かしいです。
 今は、総合スポーツセンターで試合ができ、また、足立区スポーツ推進委員の力をお借りしたルールに則り、進めていただいております。ジュニアリーグの運営補助の協力もあり、スムーズに進行できました。

第17回ドッチビー大会

元気よく笑顔で力を合わせて！



今年度は、コロナ明けで多くのチームに参加していただき、チーム数も21チーム・選手300人と増えてきました。
 毎年思うのですが、子ども達の成長と、チームワークのよさや試合戦略を考えて練習されているのが、毎年活発に現れています。小・中学生の部の試合は、中学生が戦略を考え、小学生を巧みにリードしているのが解り、上下関係が取れているようでした。このようなスポーツを通して子ども会が増えて行くことを願います。

試合「戦い」の中で勝ち負けがあるわけですが、負けたチームは顔一杯に涙を流し来年はリベンジするのでしよう。勝ったチームは監督・コーチ・保護者と手を取り喜ぶ姿は、見ていても感動しました。来年も連覇を目指し練習することでしょう。

メダルを首からかけた姿は、ほころしく見えオリンピックの選手のようなです。これからも、各地少協・各子ども会でもチームを作り参加をお待ちしております。



▲小学生の部 優勝 ヒビケⅢ



▲小・中学生の部 優勝 ピンクパンサーA

小学生の部		結果発表	小・中学生の部	
順位	チーム名		順位	チーム名
優勝	ヒビケⅢ（第11）		優勝	ピンクパンサーA（扇）
2位	榎戸町会児童部（保塚）		2位	堺田町会子ども会A（保塚）
3位	千住ウェストA（第15）		3位	花保町会（保塚）





団体	開始	回数	練習日		内容	選手の募集の仕方	監督・コーチから一言
			曜日	時間			
A	一年中	月4	木	15:30～17:30	基礎体力作り(マット運動、跳び箱、ランニング等)パス練習、練習試合	町会員に回覧で	日々の練習は嘘をつかないので練習に参加しよう
B	一年中	月3/4	日	10:00～12:00	パス回し、試合形式	JL研修会、ロコミ	今年こそ優勝するぞ
C	11月	月4	金/土/日	19:00～21:00	パス練習 試合形式	LINE公式アカウント グループLINE	力を合わせて楽しくがんばろう！
D	4月	月3	火	17:00～18:00	ディスクで遊び中心	興味のある方に 声かけロコミ	楽しんで思いっきりガンバって！
E	9月	月2	土	14:00～16:00	試合形式	ひみつ	楽しくやろうぜ！
F	4月～ 11月～	月1 週1	木	19:00～21:00	パス回し練習、試合形式	学校へパンフ配布、 保護者へロコミ	メダルを取って帰ろう！
G	一年中	月1	月	15:00～19:00	試合形式	学校を通して	よく頑張りました。楽しもう！
H	6月	月1	日	13:00～15:00	試合形式	各町会(子供会)の 掲示板、LINEロコミ	がんばれ！
I	6月	月1	日	13:00～15:00	試合形式	各町会(子供会)の 掲示板、LINEロコミ	優勝目指せ！
J	6月	月1	土	13:00～15:00	基本の練習 試合形式	子供会へ当日参加 出来る子供達を募集	日頃の練習成果を発揮し楽しみながら頑張ろう。目指せ、上位入賞
K	11月	月1	日	10:00～11:30	スローイング キャッチ、試合形式	学校にプリント配布	怪我のないよう楽しんで
L	10月	隔月1	日	13:00～17:00	ルール、実践練習	小学校にチラシ配布	
M	1月	全5回	日	9:00～12:00	2回は他町会と合同試合	町会内のグループLINE	悔いの無いように頑張れ！
N	1月	全4回	日	9:00～12:00	練習試合	町会内のグループLINE	負けても上を目指す心を大切に
O	1月	全3回	日	13:00～17:00	投げる、取る 試合形式	子ども会の保護者に LINEで募集	練習は少ないけど、チームワークで頑張ろう！皆ならでる
P	1月	1回	土/日	14:00～15:00	スロー、キャッチ、ミニゲーム	町会へ周知	
Q		無し				子供会連絡網で募集	怪我をしないで仲良く楽しもう



▲四宮会長あいさつ

足立区少年団体連合協議会
新年会を開催

副会長 中村 清代

1月10日、新年会が西新井センターにおいて、96名の参加で開催されました。初めに、四宮会長より昨年の活動に対しての協力に感謝を込めての挨拶がありました。次に、来賓の足立区教育委員会教育長中村明慶様と足立区議会議員ただ太郎様より挨拶を頂き、14名のご来賓臨席のもと足立区町会・自治会連合会会長峯岸茂隆様の乾杯で和気あいあいの懇談となりました。続いて総務部長の仕切りで、ビンゴ大会を行い、一等は大きなシンビウム、二等からは小ささまざまな花が、それぞれ参加者全員に当たりました。初めての会場でいろいろ戸惑ってしまったところもありましたが、参加した皆さんが笑顔で新たな年のスタートを始め事ができました。

ビーチボールバレー大会

第9地少協

一樹 勇大郎



▲大会の様子

12月7日、毎年恒例のビーチボールバレー大会を、梅田地域学習センター（エル・ソフィア）の体育館で開催しました。これは、青少年対策第十地区委員会との共催により、第九中学校、梅島小学校、梅島第二小学校、亀田小学校の4校で生徒児童のチーム、親子のチームの募集をし、それぞれの部門での優勝を目指して試合を行いました。大会の前週には、事前練習と体験会を開催し、ルールを学んでから試合に臨みました。なお、審判員としてスポーツ推進委員の方々にもご協力をいただきました。

いただきました校長先生や副校長先生にいいところを見せようと、子どもたちも必然的にヒートアップしていきます。フラフラ、フワフワとどこへ飛んでいくかわからないビーチボールを追いかけて、思わずぶつかってしまふ子どもたちもあり、全ての試合が終わるまで体育館は熱気に包まれました。

閉会式では、賞状と景品、参加賞を手にして皆ニコニコした表情で和やかな雰囲気でした。多くのの方々に協力をさせていただいたおかげで、今年も、ケガをすることもなく無事に終わることが出来ました。「子ども会」がどんどん少なくなっていく昨今、我々の梅田地域も例外ではなく、今後もういった子どもたちを主体にしたスポーツ大会をできるだけ開催して、地域を盛り上げていきたいと思っています。



▲デカパンレース

2つに区切り、応援席と競技のエリアに分けました。徒競走な

ども会の役員など大人の参加者は約50名、幼児も多数参加があり、体育館の中は人であふれていました。20名近いご来賓の方々には、ステージ上から観覧していただきました。体育館を縦に2つに区切り、応援席と競技のエリアに分けました。徒競走な



ど距離が取れず難しかったですが、徒競走、パン取り競走、ハテナ？釣りレース、運命レース、デカパンレース、障害物競走、大玉送りなど、ほぼ予定通り実施でき、ほっとしました。年々参加者が減少しており、コロナ禍を経て行事を再開してもなかなか人数が戻って来ないのですが、楽しい活動が続けていくことが今できることではないかと考えています。



▲大玉送り

ミニ運動会
初めての体育館開催！

第13地少協 会長

岩井 和美

編集後記



Aフェスタを始め、各行事でジュニアリーダーの活躍が目立った一年でした。今年度は、ジュニアリーダースーパー研修会を修了した35名も新たに加わり、更に若々しく頼もしくなり、今後の成長が楽しみです。

来年度もジュニアリーダーたちの活躍している姿、各行事に参加する子ども達の笑顔が伝えられるような紙面作りをしていきます。73号を発行するにあたり、ご協力をいただいた皆様ありがとうございました。

(川田)

